



第87回島根県スポーツ推進審議会  
平成28年2月8日（月）  
サンラポーむらくも

# スポーツ医・科学サポート事業について トレーナーの現状および課題

川本 晃平

理学療法士、(公財)日本体育協会公認アスレティックトレーナー

島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部

島根大学大学院医学系研究科 整形外科学教室

島根県アスレティックトレーナー協議会会長

(公財)島根県体育協会 スポーツ医・科学委員会委員



# 本日のコンテンツ

---

- ・ スポーツ医 ・ 科学サポート事業について
- ・ 島根県のトレーナーの現状および課題

# スポーツ医・科学サポート事業について



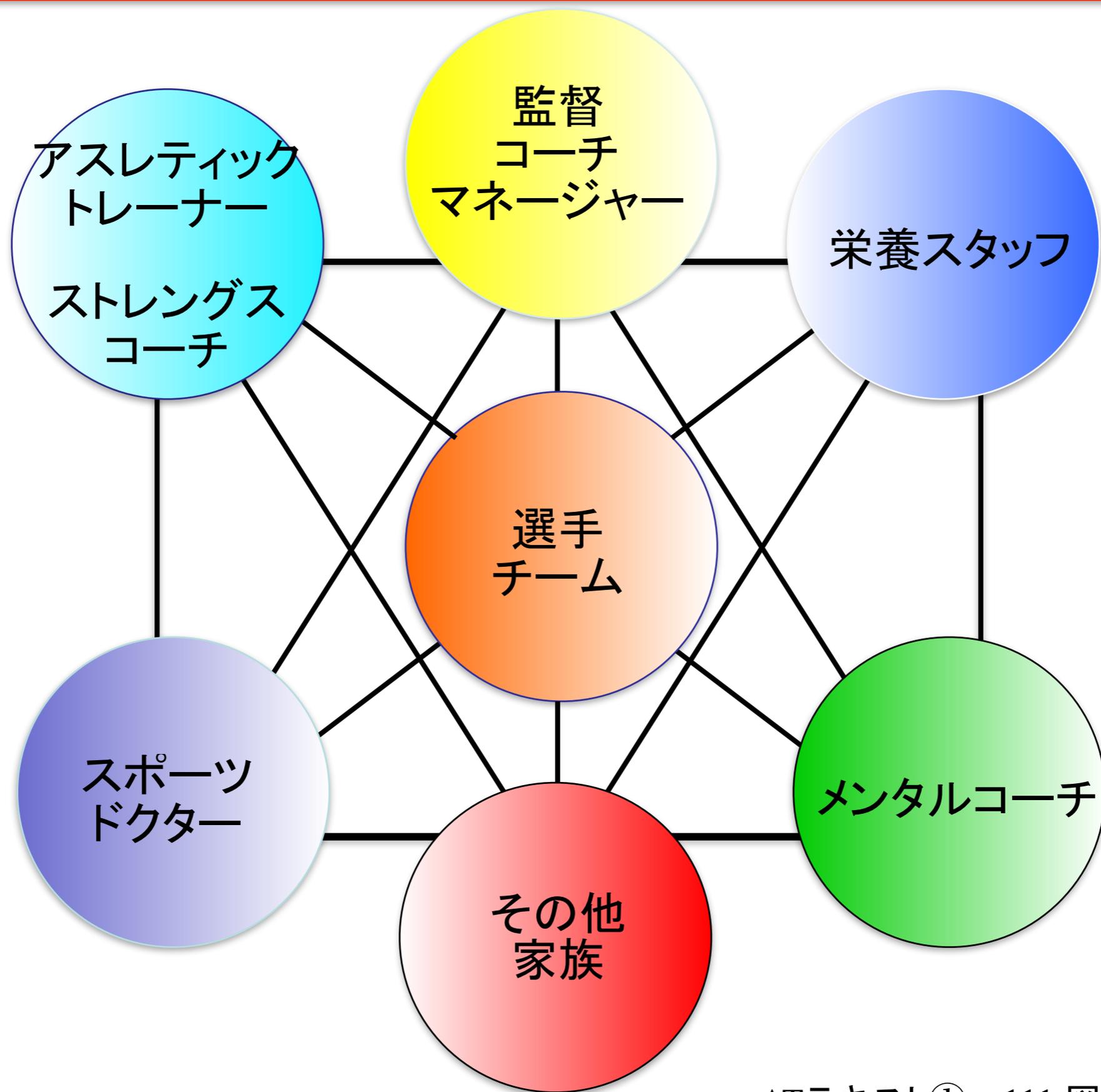
# スポーツ医・科学サポート事業の目的

---

平成24年度に策定された国のスポーツ基本計画においては、選手強化策の一つとして、スポーツ医・科学等を含む多方面からの支援（マルチサポート）が打ち出されている

本県においても県内に医・科学サポート体制を作り、選手やチームなどを支援することによって、競技力のさらなる向上を目指すことを目的とする

# 医・科学サポートチーム



# スポーツ医・科学サポート事業の対象

---

## 小学生

各競技団体 1～2 競技（ジュニアスポーツクラブ等）

## 中・高校生

県大会ベスト4以上の部活動（過去2年間）

（高校においては、重点校・IH特別強化指定校も対象）

## 小・中・高（特）

平成26年度全国規模の大会で成績を残した将来有望な選手・チーム

# スポーツ医・科学サポート事業の内容・派遣者

---

## 内容

広範囲に渡り、「チーム」や「選手・監督」などに対して、栄養面（栄養指導、サプリメント指導など）や身体面（フィジカルトレーニング・コンディショニング、ストレッチング指導、リハビリ指導など）を県内のスポーツドクター、スポーツ栄養士、スポーツトレーナー、スポーツファーマシスト等の人材を総動員して（**オール島根サポートチーム**を結成して）、サポート（支援）する

## 派遣者

スポーツドクター、スポーツ栄養士、理学療法士（トレーナー）、スポーツファーマシスト、メンタルトレーナー

# 理学療法士(トレーナー)のサポート内容

## (1) スポーツマンとしての基礎的な身体づくりを中心とした派遣

- ①選手全体の評価
- ②トレーニング指導



## (2) ケガ・傷害予防等を中心にした身体づくりの派遣

- ①ウォーミングアップ・クーリングダウンの指導
- ②ケガの予防に対する指導



# 平成25年度～平成27年度実施状況の比較

	H25年度	H26年度	H27年度
高等学校	21校33部	21校49部	22校46部
中学校	10校21部	13校24部	11校46部
競技団体	2団体2チーム	3団体3チーム	2団体2チーム
合計	33校・団体 56部・チーム	37校・団体 70部・チーム	35校・団体 69部・チーム
対象選手数	799名	976名	1093名

# 指導を受けた部活動・団体の感想

- ・ 肩や膝などにケガを抱えている生徒にとっては専門的な立場からケアの仕方を教えて頂き、**安心して大会への準備を進めていける機会になったと思う**
- ・ 前回の指導の成果からか**故障者も少なくなってきたので、この調子で続け、改善していきたい**
- ・ 体幹トレーニングの基本と各種方法を指導していただいたので、練習中や、家庭でも**取り入れていきたい**
- ・ テーピング指導をして頂き、生徒も**理解することができたと思う**  
また自分の状況を考えてテーピングを巻くことの**必要性も理解できたと思う**

# 島根県のトレーナーの現状および課題



# トレーナー？

---

- ・トレーナー
- ・スポーツトレーナー
- ・アスレティックトレーナー
- ・メディカルトレーナー
- ・プロパーソナルトレーナー
- ・自称トレーナー
- ・〇〇〇トレーナー

・ ・ ・ etc

様々なトレーナーという名が乱立している



# トレーナー??

---

**trainer** : トレーナー



**train** する人



training : 鍛える、練習する、訓練する  
教える、教育する

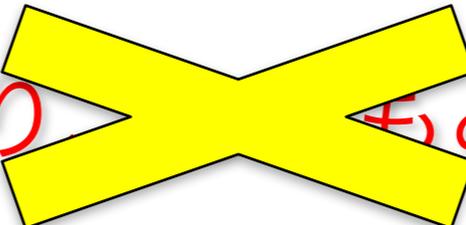
つまり選手を教育できる人のこと

# trainer : トレーナー

---

自己管理を促し、どのようなコンディショニングをしたらよいかアドバイスする

例えばウォーミングアップ、クールダウンの方法、  
スポーツ外傷・障害予防プログラムなど

至れり尽くせり  ちみマッサージ

こうならないためにも…

選手・チームのことをよく知ることが大事

案外これが簡単なようで難しい！

# アスレティックトレーナーとは

検査・測定と評価

スポーツ外傷・傷害の予防

健康管理と組織運営

スポーツ現場における救急処置

教育的指導

アスレティックリハビリテーション

コンディショニング

7項目について高度な知識と技能を備え、スポーツドクター  
およびコーチとの緊密な協力のもとに、競技者の競技活動を  
支えるスタッフ

(日本体育協会)

# 日本のトレーナー制度の現状

---

- ・ 日本体育協会
- ・ ジャパン・アスレチック・トレーナーズ協会  
(NPO法人)

など、様々な団体が認定制度を設けている

これらは現在は国家資格ではなく、団体の認定資格



理学療法士や柔道整復師など医療系の国家資格とともに  
これらの資格を取得する人が多い

# 日本体育協会公認アスレティックトレーナー

(JASA-AT)

- 日本初となる唯一の公的なトレーナーの資格
- 1994年に養成事業が開始
- 日本体育協会公認スポーツ指導者の一資格
- 全国で2623名在籍 (2015年10月現在)



# 国体参加選手団体本部役員編成 改定

第70回国民体育大会から適用(平成27年3月改定)

アスレティックトレーナーは、国体選手の競技力向上やコンディショニングをサポートするための重要性が高く、既に選手団に帯同している都道府県が多数みられるため、本部役員として帯同できることとする

なお、帯同できるアスレティックトレーナーは日本体育協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする

# 島根県でJASA-ATを取得するためには

各団体および  
各競技団体

- ・ トレーナー経験を積み、活動実績を作る
- ・ 各団体もしくは各競技団体に実績を認められ  
(公財)島根県体育協会に推薦される

(公財)  
島根県体育協会

- ・ (公財)島根県体育協会に推薦を承認される
- ・ 推薦者の中から選考された者が  
(公財)日本体育協会に受講生として推薦される

(公財)  
日本体育協会

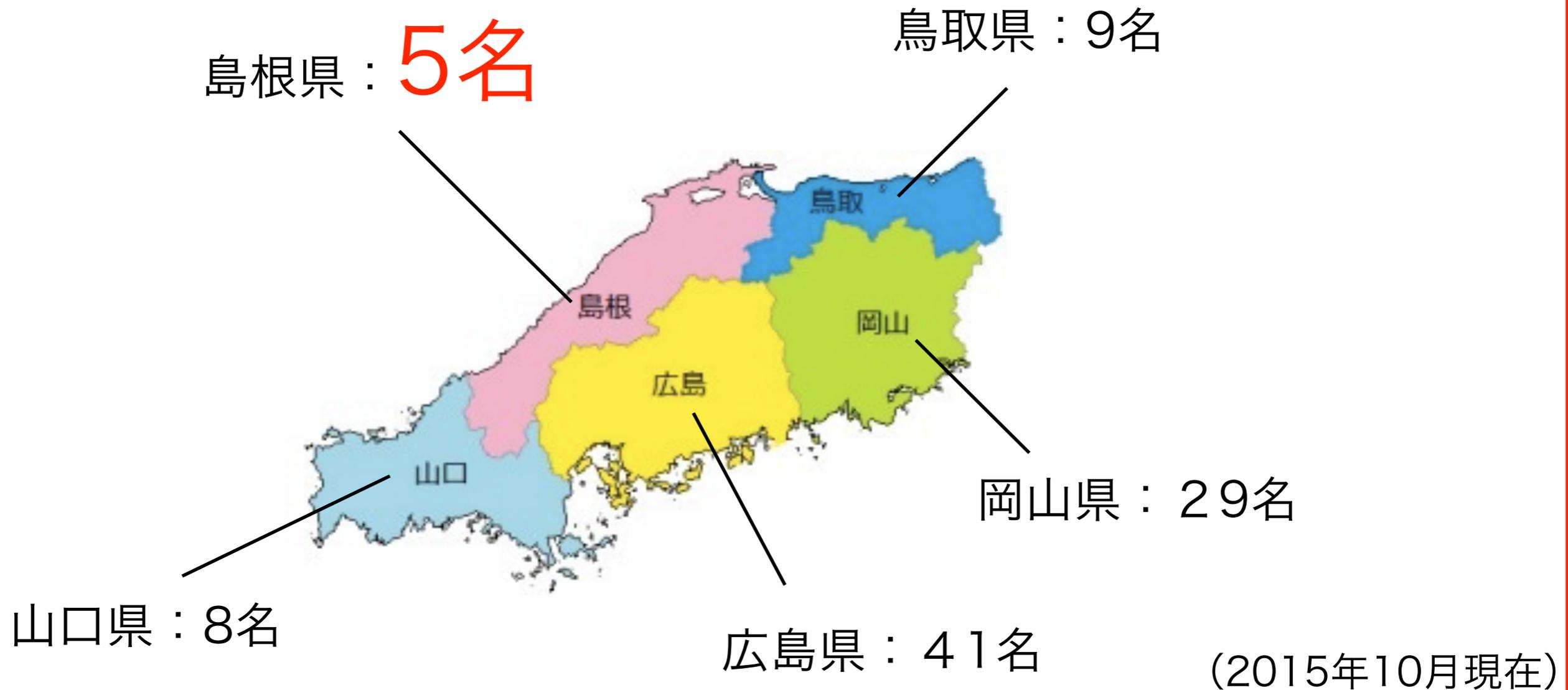
- ・ (公財)日本体育協会に推薦された中から  
選考され、承認される
- ・ 養成講習会を受講する(752.5時間)
- ・ 検定試験を受検する(筆記→実技の順)

JASA-AT

- ・ 検定試験(筆記→実技)を合格する
- ・ JASA-ATとして登録される

# 島根県の問題点

## ① JASA-ATの在籍数が**全国最下位**

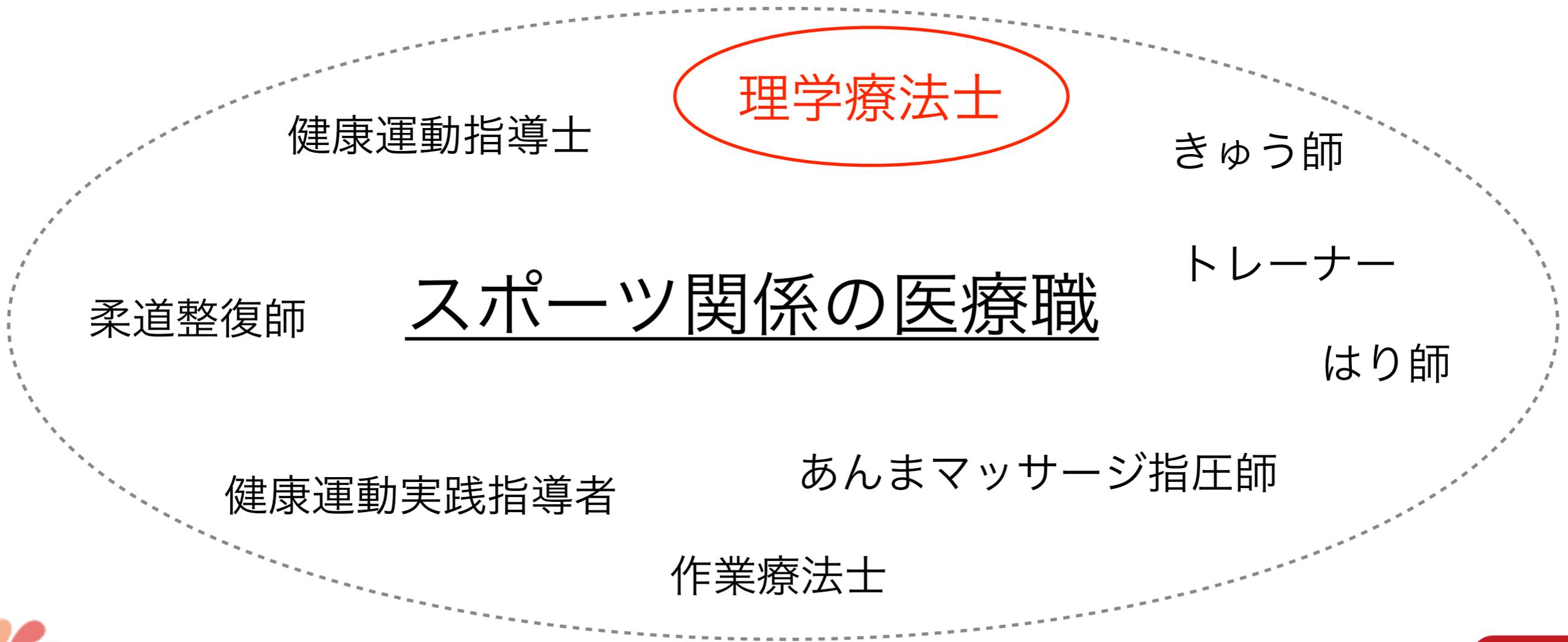


中国地区では92名在籍

# 島根県の問題点

② 医・科学サポート事業で活動しているのは理学療法士のみ

現場からの需要はあるが、供給は不十分



絶対数が不足

# 島根県の問題点

## ③ トレーナーの質の問題

各トレーナー間での知識・技術の差が大きい

例) 理学療法士の場合

理学療法士が養成校で習うのは…

病院の中で行うリハビリテーションの部分

➡ いかに患者を自宅に退院させるかという教育が中心

各種スポーツや競技復帰、スポーツ選手に対する専門知識が乏しい

知識・技術の向上は急務！



# 島根県AT協議会 (平成27年11月1日設立)

## 役員構成

- 会長 川本晃平 (島根大学医学部附属病院)
- 副会長 山本圭彦 (リハビリテーションカレッジ島根)
- 理事 松本康佑 (倉敷記念病院)
- 顧問 伊達伸也先生 (島根県体育協会スポーツ医科学委員会委員長)

## 運営部

教育部

会計部

管理部

事務局・広報部

福利厚生部



(公財)島根県体育協会の協力団体



# 島根県AT協議会の活動

- ① スポーツ関係事業の実施
- ② JASA-ATの認知度の向上、育成事業
- ③ 認定トレーナー制度の制定
- ④ 勉強会、研修会の開催（医療者・一般の方向け）



# 知識・技術向上のための対策

## 現状

年に数回の研修会へ任意で参加

限られた回数しかなく任意参加のため限界がある

トレーナーの能力の判別が困難

基礎的な部分を担う研修会が少ない



まずは現場に出るトレーナーとして基礎的なスキルを身に付ける必要があるのでは

# 島根県認定トレーナー制度(仮)の制定

JASA-AT養成プログラムに沿って講習会、検定会を実施

- 必要な基礎知識・技術を身につけることができる
- 一定の質を保つことができる
- 一般のスタッフや医療者と差別化を図ることができ、トレーナーとしての基準を設けることができる
- 島根県のスポーツ医科学の活性化につながる

島根県国体チーム帯同トレーナーの資格保有義務化  
島根県推薦としてJASA-AT受講のための資格保有義務化



島根県のJASA-AT数の増加

# 受講から認定までの流れ (案)

申し込み

- ・ 医療資格保有者が対象
- ・ 年1回の開催

講習会を受講

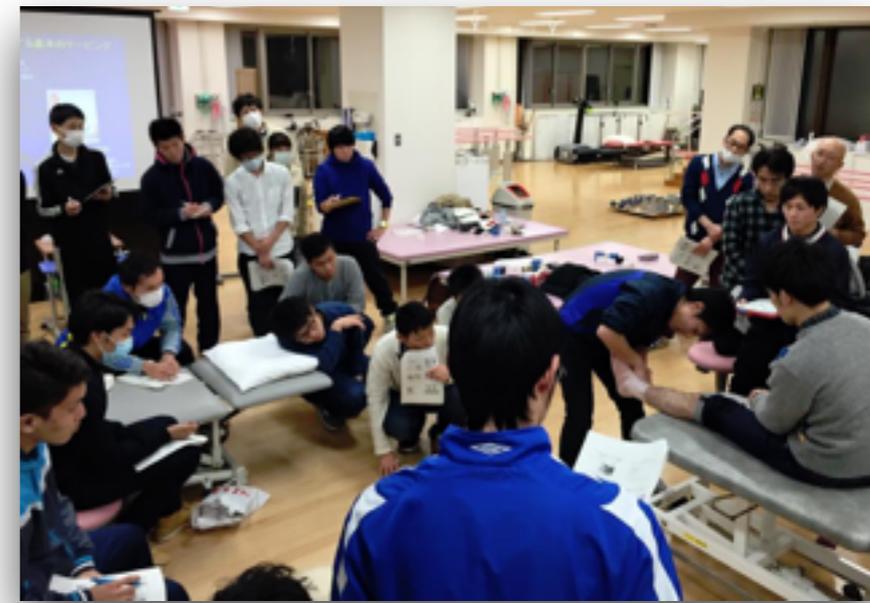
- ・ JASA-AT、公認ドクター、公認栄養士が講師
- ・ 応急処置、コンディショニング、テーピング、栄養アスレティックリハビリテーションを中心に実施

筆記・実技試験

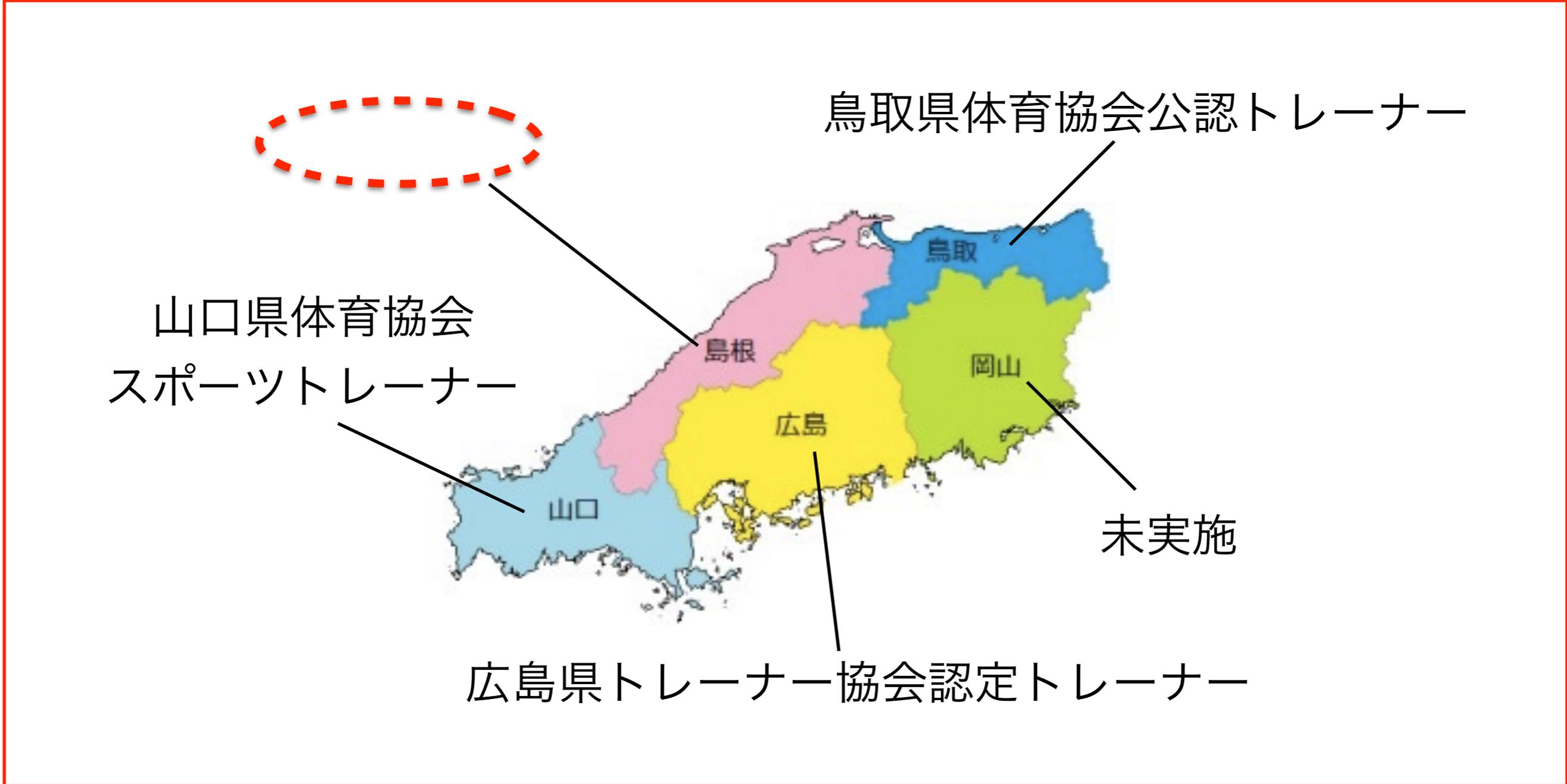
- ・ まず筆記試験を実施
- ・ 筆記試験合格後、実技試験を実施

認定トレーナー  
取得

- ・ 筆記、実技試験を合格
- ・ 認定トレーナーを取得



# 他県の認定トレーナー制度の現状



中国地方では岡山県以外は県独自の認定トレーナー制度を制定

# 今後の展望

---



## *Shimane*

---

競技力および成績の向上  
スポーツ医・科学の向上(トレーナー育成)



TOKYO ● 2020  
APPLICANT CITY

## *2020 Tokyo Olympic*

---

島根県出身選手の参加  
島根県在住のトレーナーとして参加



ご清聴ありがとうございました



: k.kawamoto1788@gmail.com



: 0853-20-2457



: Kohei Kawamoto

